

# 都市近郊の住民が一体となったイノシシの被害防止対策

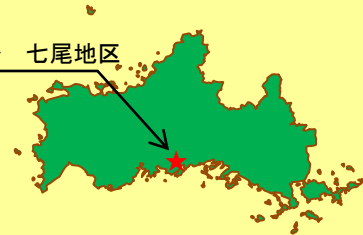
## 1 要旨

イノシシの出没が頻繁で、農作物被害に悩まされている防府市大字佐野の七尾地区において、住民自らによる侵入防止柵の設置を始め、地域ぐるみで緩衝帯の整備や放任果樹の除去及び箱わなによるイノシシの捕獲活動を行った結果、イノシシの被害が減少した。

## 2 地区の概要

地区名	防府市大字佐野 七尾地区
戸数	50戸（うち、農家32戸）
耕作面積	6.8ha
主な作物	水稲、野菜
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	平成29年度

防府市大字佐野 七尾地区



## 3 被害の状況と課題

- イノシシによる水稲や野菜を中心とした農作物被害のほか、地区住民の居住区にもイノシシが出没している。
- イノシシの被害により、営農意欲が低下して耕作放棄地が増加することや、地区内に小学校があることから、保護者より児童への被害の心配の声が上がっている。

## 4 取組内容

### (1) 鳥獣被害対策研修の受講

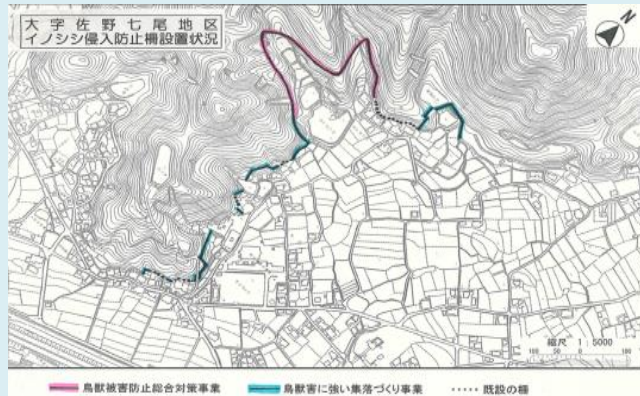
○七尾地区の住民3名が、県主催の「鳥獣被害対策研修」を受講。イノシシの生態や被害防止対策に係る基礎知識のほか、集落環境調査の方法などを習得した。

### (2) 集落環境調査を実施

- 住民及び市の職員により地区内を調査し、田畑の分布状況やその中で被害を受けている田畑の有無を始め、イノシシが出没している箇所を地図に記入した。
- これをもとに自治会と市が協議し、被害防止対策を決定した。

### (3) 対策の実践

- イノシシは地区の北側の山林から出没していることから、地区と山林の境界に住民自らが侵入防止柵を設置。
- さらに加害するイノシシを捕獲するため、猟友会により地区内に箱わなを設置した。
- このほか、地域ぐるみの取組として、侵入防止柵設置箇所の草刈りによる緩衝帯の整備、放任果樹やくず野菜の撤去などを地区内で徹底した。



侵入防止柵の設置範囲



侵入防止柵（金網柵）の設置

## 5 取組の成果

- 侵入防止柵の設置により、地区内の被害が皆無になったほか、イノシシが出没しなくなり生活環境も改善された。
- 一方、侵入防止柵が未設置である隣の地区でイノシシの出没情報や農作物の被害が増えてきているため、同様の取り組みを当該地区でも次年度実施することとなり、地域ぐるみの活動が広がり始めた。

【被害額】

(千円)

区分	事業実施前	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	2,500	0	▲ 2,500	0	▲ 2,500	0	▲ 2,500

## 6 地区代表者などのコメント

侵入防止柵設置後は被害が全くなかった。年に1回は地域住民10名程で防止柵を見回りながら、状態の確認や整備を実施している。

## 7 今後の取組

地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策を波及していきたい。